

中国の記事から（畜産）

2006年3月20日号

目次

◎農業部「全国の鳥インフルは全て抑えられた」

【経済日報 2006年03月20日】

◎天津美キ凌油脂有限公司、マーガリン新製品の販売好調

【中国化工報 2006年03月20日】

◎農業部「全国の鳥インフルは全て抑えられた」

【経済日報 2006年03月20日】

農業部は、18日、2005年以降全国では14省・自治区で高病原性鳥インフルエンザ35件が発生（2006年は3件）、感染した家禽は19万4000羽、死亡したのは18万6000羽、殺処分されたのは2284万9000羽に上り、現在までに鳥インフルエンザは全て抑えられていると発表した。

農業部獣医局の賈幼陵・局長によれば、春季は鳥インフルエンザをはじめとする動物関連の疾病が多発する時期であることから、農業部は、「2006年春季高病原性鳥インフルエンザ等重大動物疾病防止業務に関する意見」などの文書を発表し、予防に力を入れている。家禽のワクチン接種率100%達成、5月末までに動物関連疾病の状況検査実施などを行っていく。

◎天津美キ凌油脂有限公司、マーガリン新製品の販売好調

【中国化工報 2006年03月20日】

マーガリンメーカーの天津美キ凌油脂有限公司は、新発売したアイスクリーム専用マーガリン「康楽」の販売が好調であることを明らかにした。同会社は、北京食用黄油廠と天津利康油脂会社が合併設立したもの。食用ゲルの生産量は年間7500トンに達する。天津美キ凌油脂有限公司は北京、天津のほか青海省、雲南省、四川省、チベット自治区などの市場も開拓。チベット自治区ではチベット族牧畜民の好みにマッチする新製品を開発、発売している。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。